



平成22年5月7日

各位

上場会社名 株式会社 ディーバ
 代表者 代表取締役社長 森川 徹治
 (コード番号 3836)
 問合せ先責任者 取締役財務・総務担当 野城 剛
 (TEL 03-5480-7600)

平成22年6月期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成22年2月5日の決算発表時に公表しました平成22年6月期(平成21年7月1日～平成22年6月30日)の業績予想及び期末配当を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

業績予想の修正について

平成22年6月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年7月1日～平成22年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,420	330	320	190	16,330.04
今回発表予想(B)	3,100	65	50	30	2,578.43
増減額(B-A)	320	265	270	160	
増減率(%)	9.4	80.3	84.4	84.2	
(ご参考)前期実績 (平成21年6月期)					

平成22年6月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年7月1日～平成22年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,300	330	320	190	16,330.04
今回発表予想(B)	2,950	65	50	30	2,578.43
増減額(B-A)	350	265	270	160	
増減率(%)	10.6	80.3	84.4	84.2	
(ご参考)前期実績 (平成21年6月期)	3,411	319	308	184	16,440.69

- (注) 1. 1株当たり(予想)当期純利益は、第3四半期期末時点の発行済株式総数により算定しております。
 2. 連結業績予想数値につきましては、平成22年6月期第2四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、平成21年6月期については記載しておりません。

修正の理由

経済環境は、景気回復の本格化に期待がかかるものの、円高、デフレ傾向の進行等先行きの不透明感は根強く、IT投資の抑制傾向は継続しており、当社を取巻く環境は厳しい状況で推移しております。

会計・経営情報分野におきましては、IFRS(国際会計基準)による需要の活性化要因はあるものの、未だ動向の見極め傾向が強く実需への動きは鈍いものとなっており、投資が抑制傾向にある現時点では、連結業務の効率化のための新規導入・システム更新を先送りさせる要因となる傾向にあり、新規顧客への売上高の減少を避けることができず当期の業績予想を修正しております。

なお、株式会社インターネットディスクロージャーとの経営統合により、同社の開発・販売する開示情報検索システムとともに制度会計を超えた経営情報に基づく開示要請に応え、IFRS基準での連結経営やIR活動のサポート強化等、お客様企業のIFRS対応に貢献できるソリューションを幅広く提案、提供できる体制を整え、本格化するIFRS時代に応え、事業成長を目指すこととしております。

配当予想の修正について

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成22年2月5日発表)				2,500.00	2,500.00
今回修正予想				1,250.00	1,250.00
当期実績		0.00			
前期(平成21年6月期)実績		0.00		2,100.00	2,100.00

修正の理由

当期の配当につきましては、期初の業績予想に基づく配当性向15%程度を予定していたため、業績予想の修正に伴う株主への還元を可能な限り考慮・検討いたしました。今後の事業活動に必要な内部留保も鑑み、配当性向が50%を超えない水準を上限として修正いたしました。

(注) 上記業績及び配当予想は、本資料の発表日現在において入手している情報に基づいた見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績等は、今後の様々な要因によりこれらの見通しとは異なる結果となる可能性があります。

以 上